

## なんだ・かんだ

### ◆ 電子書籍・電子雑誌 ◆

日本国内の書籍・雑誌販売市場は、年々減少が続いています。しかし、その中で昨年の電子書籍・雑誌の販売額は、約1,000億円とまだ全体の6%程度ですが、こちらは年々増加を続けていて、今後3年で倍以上になると予想されています。

電子書籍の販売サービスをしているストアは、20以上あるようですがその中で、下記の4つを比較してみました。

サービス名	BookLive!!	Reader Store	Kindleストア	楽天kobo
運営	凸版印刷	ソニー	アマゾン	楽天
蔵書数	約11万8000	約7万8000	約7万4000	約11万
iPhone/iPad	○	×	○	×
Android	○	○	○	○
Windows	○	×	×	×
同時利用端末	5台	5台	無制限	非公表

まだ出版されている本がすべて電子書籍になっているわけではなく、無い方が多いくらいですし、サービスによっては、購入しても見ることができない端末があるので注意が必要です。また、1冊購入すると複数の端末で読むことができるので、家族などでシェアしたり、端末を交換しても、ダウンロードした書籍は引き継ぐことができます。

紙の書籍と電子の書籍との大きな違いは、やはり価格です。紙の書籍は、出版社が決めた定価で店舗が販売できる「再販制度」の対象ですが、電子書籍は、原則適用されません。国内の販売サービス会社は、出版社に配慮して、おおむね低下の8~9割程度ですが、アマゾン(Kindleストア)は大幅に安く、半額を切るものもあります。

電子書籍が広まる事により大きな影響を受ける書店も黙っていません。全国に200店舗を持つ「文教堂」は、「空飛ぶ本棚」というサービスを昨年末から始めています。書店で雑誌を購入すると、専用のアプリで同じ雑誌の電子版を端末で見ることができるというものです。外出時は重たい雑誌は持たず、スマホ等で読んで、家でゆっくり読むときは紙の雑誌を見ることができるといいます。文教堂はこのサービスによって雑誌売上が8割も増えたということです。このサービスは、文教堂が契約している出版社の出している約60誌に限りますが、大半は売上が5割アップしているそうです。

また、凸版印刷では、雑誌の一部分だけ切り抜きのように購入できるアプリを開発し、現在14の雑誌が参加しているそうです。アプリの画面には、電車の中刷り広告のように、雑誌の見出しが表示され、見たい記事をクリックしてダウンロードするという仕組みで、1本50円からということです。紙媒体の関連会社も生き残りに必死です。

電子書籍の端末も色々あり、私はアイパッドを使っているのですが、ちょっと重たくて長時間の読書には向きません。また、スマホでは、小さすぎて読み辛いですね。友人がKindleの電子書籍専用リーダーを持っていて見せてもらったのですが、アイパッドと比べると重さや文字の見え方など、断然読書には向いています。

電子書籍はこれからどんどん増えてきますが、関連して色々なサービスが出てくるのではないのでしょうか。ちょっと楽しみです。



### ■ 今後の建設業 ■

(社員ブログ：建設部 吉川裕之)

先週10数年ぶりに依然仕事でお世話になった方にお逢いし、昔話に花を咲かせる事が出来ました。

会社の規模は違っても互いに様々な問題を抱える中で、今後どの様に建設事業を進めて行けば良いか考えさせられました。

建設業は、高齢化に伴う職人不足や建設資材の高騰など益々厳しい状況に置かれてくると思います。現状にとらわれず、あらゆる面でアンテナを広げ仕入先や下請業者などの選択枠を増やし、営業面でも少しでも多くのお客様の要望に応えられるような、システム創りを皆で心がけて行ければと思います。

### 年度末をむかえて

今年3月に入っても寒い日が多くありましたが、24日からの最後の週は寒気の南下もなく、全国的に暖かい日が多くなって、東京では25日に、昨年より9日遅く、平年より1日早く桜の開花宣言が出されました。この勢いで桜前線が急進北上し、4月の声を聞くとともにお花見を楽しめる所が多くなりそうです。ただ、花粉の飛散が本格化すると共に、春らしく朝晩と日中の寒暖の差が大きくなりますので、年度末の忙しい時期に体調を崩さないようお気をつけ下さい。

桜の便りを聞くと共に、家庭では卒業・進学、そして、会社では年度の切り替わりの時期となり、正月とは違ったこれから新しい年の始まりを感じて、期待と不安の入り交じった心境になります。

今期は、アベノミクスの波に乗り遅れてしまった感があるので、その分を巻き返す為に、現在来期の計画を立てているところです。特に来期は、当社が大正14年に創立してから、90周年という節目の年となります。式典など特別な事はしませんが、10年後の100周年へ向けて何とか弾みのつく年にしていきたいと思います。

代表取締役 服部 敏一郎

### 機能性塗料⑫

#### ● 導電性・絶縁塗料 (樹脂) ●

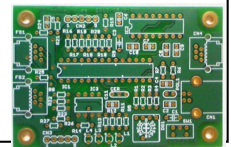
##### ○導電性塗料

「電気を通す塗料」で、電気を通す素材として「金属粉、カーボン、銀粉など」、を「アクリル、ビニル、エポキシなど」の樹脂に混ぜ合わせた塗料です。

半導体工場など、人体に貯まった静電気が製品を壊してしまわないように、この導電性塗料を床に塗布し、静電気が人体に帯電しないようにしています。当社でも何回か工事施工させて頂いています。また、ある特殊電線では、電線と金属端子の圧着部に接着剤として塗布し、万が一圧着部で断線しても電気が流れるようにしています。

##### ○絶縁塗料

「電気を通さない塗料」で、電子部品や基板の表面に塗布して、配線の接触によるショートや腐食から守ります。同様の目的で、モーターなどのコイルに使われるエナメル線などの絶縁用としても使われています。また、この塗料をスプレーにしたモノがあり、電気配線の接点部分に噴射して、酸化被膜、不純物などの汚れを取り除いて、更に薄い被膜を形成する事で、湿気による絶縁不良を回復させます



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させて頂きます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/